

令和7年10月9日

都内私立中学高等学校
校長
国語科教諭殿
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 平方 邦行
文系教科研究会委員長 畑 澤 正一
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

文系教科研究会（国語）「講演会・ワークショップ」のご案内 ～ポップカルチャーと国語教育～

秋冷の候、先生方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、文系教科研究会（国語）では、東京学芸大学教授の千田洋幸先生をお招きし、「ポップカルチャーと国語教育」と題して、講演会・ワークショップを実施することとなりました。

最近ではアニメ映画『鬼滅の刃』の世界的な大ヒットなどもあり、ポップカルチャーは世代や国境を越えて、もはやれっきとした「文化」となった観があります。国語教科書にもマンガなどが掲載されるなど、国語とポップカルチャーのつながりは今後も注目されるところです。そこで、この分野で先駆的な業績をお持ちである千田先生をお招きして、国語教育から見たポップカルチャーについてのご講演と、千田先生からの教材のご提案によるワークショップをご用意いたしました。なお、千田先生は日本近代文学がご専門ですので、文学作品にも関連したお話を伺えることと思います。

校務ご多用とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 令和7年11月20日（木）18：00～20：00（受付17：30～）

2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室（千代田区九段北4-2-25）
※ 裏面案内図をご参照ください。

3. 講 師 千田 洋幸 先生

東京学芸大学 人文社会科学系 日本語・日本文学研究講座 国語科教育学分野 教授

【講師プロフィール】

島崎藤村を中心とした近代文学研究から出発し、その後、国語教科書・教材研究、ポップカルチャー研究、村上春樹の研究などに関心を広げる。著書として、『テキストと教育―「読むこと」の変革のために』『ポップカルチャーの思想圏―文学との接続可能性あるいは不可能性』『危機と表象―ポップカルチャーが災厄に遭遇するとき』『読むという抗い―小説論の射程』、共編著として『村上春樹と二十一世紀』『文学理論と文学の授業を架橋する―虚構・語り・歴史と社会』など。



4. プログラム ①講演
国語科にポップカルチャー作品を導入することの意義について

②ワークショップ
教材開発・授業開発の可能性について

5. 定 員 40名（申し込み順 ⇒定員になり次第締め切ります）

6. 参 加 費 無 料（当協会会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）

7. 申込方法 11月13日（木）までに東京私学教育研究所HPよりお申込みください。

URL <https://k.tokyoshigaku.com>



8. 委員名（支部・学校名）

委員長 畑澤 正一（⑦大森学園）

委 員 宇野 幸弘（③晃華学園） 山田寛治郎（⑦香蘭女学校）

駒ヶ嶺泰暁（⑨中央大学杉並） 沖 奈保子（⑫ドルトン東京学園）

東京私学教育研究所 文系教科研究会（国語）

担当：松田・山本

TEL 03-3263-0544

【案内図】



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅（1またはA1）出口



地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅（A4またはA1）出口



JR中央線（各駅停車） 市ヶ谷駅
上記改札・出口から徒歩約2分

天候の悪化や各種災害、それに伴う公共交通機関の対応などにより、実施方法（オンライン研修を含む）プログラムの変更や中止（延期）となる場合があります。その際には web 申込時にご入力いただいたメールアドレスへ迅速にご案内させていただきます。